

第21回教育委員会

開会日時 令和3年 11月 10日(水) 午前 10時00分
閉会日時 午前 10時24分
開会場所 教育支援センター

出席者

教 育 長	中 川 修 一
委 員	高 野 佐紀子
委 員	青 木 義 男
委 員	松 澤 智 昭
委 員	長 沼 豊

出席事務局職員

事務局次長	水 野 博 史	地域教育力担当部長	湯 本 隆
教育総務課長	近 藤 直 樹	学 務 課 長	星 野 邦 彦
指 導 室 長	氣 田 眞由美	新しい学校づくり課長	渡 辺 五 樹
学校配置調整担当課長	久保田 智恵子	施設整備担当副参事	千 葉 享 二
生涯学習課長	家 田 彩 子	地域教育力推進課長	諸 橋 達 昭
教育支援センター所長	阿 部 雄 司	中央図書館長	大 橋 薫

署名委員

教育長

委 員

午前 10時 00分 開会

教 育 長 おはようございます。本日は、4名の委員の出席を得ましたので、委員会は成立しております。

それでは、ただいまから、令和3年第21回の教育委員会を開催いたします。

本日の会議に出席する職員は、水野次長、湯本地域教育力担当部長、近藤教育総務課長、星野学務課長、氣田指導室長、渡辺新しい学校づくり課長、久保田学校配置調整担当課長、千葉施設整備担当副参事、家田生涯学習課長、諸橋地域教育力推進課長、阿部教育支援センター所長、大橋中央図書館長。

以上、12名でございます。

本日の議事録署名委員は、会議規則第29条により松澤委員にお願いいたします。

本日の委員会は、1名から傍聴申し出がなされており、会議規則第30条により許可しましたので、お知らせいたします。

○議事

日程第一 議案第42号 板橋区立教育科学館指定管理者候補団体の選定結果について

(生涯学習課)

日程第二 議案第43号 意見の聴取

(教育総務課)

教 育 長 それでは、議事に入ります。日程第一 議案第42号「板橋区立教育科学館指定管理者候補団体の選定結果について」及び日程第二 議案第43号「意見の聴取」については、11月の文教児童委員会で報告予定の案件であるため、非公開による審議とし、議事進行の都合上、委員会の最後に処理することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教 育 長 それでは、そのように処理いたします。

○報告事項

1. 入学予定校変更希望制における応募状況について

(学-1・学務課)

教 育 長 それでは、報告事項を聴取します。報告1「入学予定校変更希望制における応募状況について」、学務課長から報告願います。

学 務 課 長 それでは、報告をさせていただきます。

入学予定校変更希望制における応募状況についてですが、まず、1. 実施状況をご覧ください。

(1) 入学予定校変更希望願の受付期間につきましては、小中学校いずれも令

和3年9月1日から9月30日までといたしました。

(2) 新入学に関する案内冊子の送付数については記載のとおりでございます。

(3) 入学予定校変更希望者数でございますが、小学校につきましては507名、昨年より25名増えております。率でいいますと12.0%。昨年より0.7%の増です。

中学校は720人。人数は昨年と比べて65人の減。率で見ますと18.3%。昨年に比べて1.2%の減となっております。

各学校の応募状況につきましては、別表1、2のとおりとさせていただきます。

抽選の実施でございますが、小学校につきましては、令和3年10月19日に、記載の5校について行いました。また、中学校につきましては、令和3年11月9日に、記載しております6校について抽選を実施しております。

今後のスケジュールですが、就学時健康診断の実施につきまして、11月4日から開始しております、11月30日までの予定です。

この後、就学・入学通知書の発送を、令和4年1月上旬に行う予定となっております。

補欠の登録期間は、小学校については、令和4年1月31日まで、中学校については、令和4年2月21日までとしております。

報告については、以上でございます。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

長 沼 委 員 この昨年度からの増減というのは、毎年、この程度の割合であればあり得るといふ数字でしょうか。それとも何か特殊な事情があるのでしょうか。

学 務 課 長 特段の大きい変化があったということではないです。人口の増減の関係でございます。

教 育 長 ここ数年、板橋区の子どもたちの数は微増かなという認識があったのですが、実際には、小学校も中学校も、減ってきているということでしょうか。

学 務 課 長 原因については定かではありませんが、全体としては少し減っています。

教 育 長 そのほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(はい)

教 育 長 それでは、次に、教育委員会次第にはありませんが、追加報告事項はありませんでしょうか。

よろしいですか。

(はい)

教 育 長 それでは、先ほど申し上げましたように、日程第一及び第二につきましては、非公開として聴取いたします。

なお、これらの議案をもって本日の教育委員会は閉会いたしますので、傍聴人の方はご退席願います。ありがとうございました。

(傍聴人 退席)

○議事

日程第一 議案第42号 板橋区立教育科学館指定管理者候補団体の選定結果について

(生涯学習課)

教 育 長 それでは、日程第一 議案第42号「板橋区立教育科学館指定管理者候補団体の選定結果について」、部長と生涯学習課長から説明願います。

地域教育力担当部長 それでは、資料の「生-1」をご覧ください。

議案第42号。

板橋区立教育科学館指定管理者候補団体の選定結果についてでございます。

議案の提出日は、本日でございます。

提出者は、教育長、中川修一となります

板橋区立教育科学館の指定管理者候補団体として、下記のとおり選定するというものでございます。

指定する指定管理者候補団体につきましては、記載のとおりでございます。

提案理由につきましては、指定管理者選定委員会において選定された団体に対し、東京都板橋区立教育科学館条例施行規則第16条第2項に基づき、教育委員会が指定管理者候補選定通知書を交付するためでございます。

詳細につきましては、生涯学習課長の方からご説明いたします。

生涯学習課長 よろしくお願います。

それでは、続きまして、2ページ目をご覧ください。

今回、指定する指定管理者候補団体として、第一候補団体としては、CTC共同事業体。代表団体、株式会社コングレと、法人団体、株式会社東急コミュニティーなる共同事業体になります。

第二候補団体は、株式会社日本保育サービス。

選定経過ですが、こちらにありますように、6月中旬～7月6日に応募書類を配布いたしまして、7月6日に参加6団体を迎えて見学会を行いました。

募集締め切りは7月29日でしたが、残念ながら、応募団体はゼロということで、その直後に、また、説明等を事業者に行い、再公募を8月下旬～9月28日

で行いまして、参加8団体で、再度、施設見学会を行い、9月28日の締め切り時点で応募2団体ということで、第一次審査を9月28日～10月13日の期間で行いました。

第二次審査の令和3年10月27日夜間に、委員の方にはご協力いただきまして、2団体によるプレゼンテーションを行いまして、指定管理者候補団体を選出したということになります。

応募団体への結果通知ですが、東京都板橋区立教育科学館条例施行規則第16条第2項の規定により、候補団体に「指定管理者候補選定通知書」をもって通知いたします。

今後の予定ですが、定例会の議決を経て、令和3年12月23日開催の教育委員会において指定管理者の指定を行う予定でございます。

最後に集計表もございます。

こちらの説明をさせていただきますと、もう一方は中央図書館との連携等、具体的に記した部分が、点数が高くなっておりますが、全体として、ほかの科学館も運営した経験があり、他機関、色々な事業体との連携も行えるということで、今回、色々な点数の若干の差が出まして、候補団体が選ばれたということになります。

以上です。

教 育 長 ありがとうございます。
 これは、来年度からということによろしいのですか。

生涯学習課長 はい。そうです。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。
 青木委員には、選定委員になっていただいているということで、ご感想いただきたいと思います。

青 木 委 員 委員の所見をご覧いただくと一番分かりやすいと思うのですが、選定されたこのCTC共同事業体さんというところの実績が非常によくできるものだったと私も思っています。

 具体的に、今、運営しているのが、横浜のはまぎんこども宇宙科学館、あとは、山梨県立科学館、あるいは千葉市科学館、いずれも、私、出張講演等で行ったことがあるのですが、非常に運営がよくできていて、施設もすばらしかったなという思いがあります。

 そこを運営しているという実績が、今の教育科学館の仕組みを最大限生かすというところで、非常に魅力的に映ったということですよ。

 今あるものをどう最大限生かしてくれるかというところの、質疑応答の中でも期待を感じさせるようなコメントがあったと私自身は感じていて、皆様もそうだったのかなという感触を受けております。

特に新しい図書館との連携というのも非常に期待したいところになっておりますので、その辺の運営をやってくれそうな希望が持てましたというのが私の感想になります。

教 育 長 ありがとうございます。

確か教育科学館が建って33年ぐらい経ちますよね。ずっと学研が指定管理でしたでしょうか。

生涯学習課長 今の学研さんは3期目です。

教 育 長 私から質問なのですが、最初、1回目の説明会には6団体が参加したが結局応募がなかった。この原因は何だったのか、分かりますか。

生涯学習課長 3期も同じ学研さんが受けていると、外からは、ずっとそこがやっていくのであろうという認識があり、ほかのところは、見学には来たが手を挙げる準備はしていませんでした。ところが、今回学研さんが手を挙げませんでした。次のときに、企業さんからも「何でゼロなのですか」という質問もあり、事情を説明した上で、応募団体、次は施設見学に8団体来てくださって、もう一度、新たな視点で見学をした上で手を挙げてくださりました。

教 育 長 大変でしたね。

もう1つ、今の施設を継続して教育科学館を進めていく5年間、こういうコンセンサスということで、改修工事をするとかということは一切ないですね。

生涯学習課長 ないです。これは現状でどうやっていくかということで、皆さんに話をし、説明して、手を挙げていただいた。ただ、あり方という点では考えていく、来年度には検討していくことになっています。

教 育 長 そうすると、この5年間、次の指定管理のその中で今度は教育科学館のあり方検討が始まって、次に繋がっていくということですね。

生涯学習課長 はい。ある意味で、その辺については、今後のあり方も含めて、新しい業者さんと新しい科学館の未来をつくっていくというイメージで捉えています。

教 育 長 青木委員、これからの展望も含めて、何か、ご意見はございますか。

青 木 委 員 まさに今ご説明のあった話なのですが、今後、私が必要と感じたのは、CTC共同体さんの、今ある施設を例えば改修してという話ではなくて、中身でしかうまくアピールしていけないとすると、多分、そこにどのようなコンテンツが入れられるかという話になってくると思うので、そのような意味では実績があるこの

CTCさんは、いわゆる中の講師の先生ですとか、実験教室は何をやるといったときに、企業ですとか、それから、そういう教材や何かを提供してくれる広告主のコネクションがかなり強いと感じました。

それは、実績であるほかの科学館でも、どういうイベントをやっていくか、それから実験教室をやっているか、取組をやっているかというのを見ていると、その辺のものが教育科学館に来たら、これは期待が持てるなというイメージがあったものですから、その辺ですね。

従来の学研さんですと、学研のコンテンツが中心になってしまうので、それ以外の新しいところというのが、期待が少し持ちにくいと感じてしまうのです。

いずれにしても、今度やっていただく団体は、山梨の県立科学館とか、プラネタリウムがとてもうまいですよ。それで、プラネタリウムコーディネーターの方も、今や全国的に有名になった高橋真理子先生がいらっしやったりして、そういう方たちがやっているつながりがあるということは、そういう人にも、協力をいただける可能性があるというのは、私は個人的にすごく良いと考えています。

教 育 長 ありがとうございます。
すみません、どうぞ、松澤委員。

松 澤 委 員 非常に前向きな青木委員のお話を聞きまして、私が、先日中央図書館のところの平和公園にイベントがあったときに、あの地域自体が新しいものができたことによって活性化されているなど確実に感じたことを思い出しました。

見込みの人数よりもかなりの人出がありまして、これは中央図書館だけが理由ではないかもしれませんが、確実に中央図書館がああいうロケーションで、いいものができたということによって相乗効果、シナジー効果となったのかなというふうに思います。

私は業者が変わるということ、今までの学研さんの評判がよかっただけに、あまりいいイメージがなかったのですが、むしろ、もう1つ枠を広げて、今までの科学館だけではなくて、図書館と、例えば上板橋第三中学校、そういうところとか、色々なところとの、地域を巻き込むものができると青木先生のお話から期待がもてました。その辺も含めて、今後は、まずはコンテンツを広げていただくということ、幅を広げるということ、第一に考えていただきたいです。

あと、板橋区の行政の方をお願いしたいのは、せっかくそのような相乗効果があるので、今行っているあり方検討のなかで、考えていただきたいと思います。

教育科学館は、中央図書館よりも駅から近いです。駅からの人の流れも考慮して、中央図書館まで導けるように、それこそ絵本のまちも含めてなると、あのエリア一体が盛り上がるきっかけにもなります。今般、そのようなコンセプト、テーマ設定も大事だと思いますので、青木先生がおっしゃったように、いろいろなことができる場所に決まったのであれば、板橋区はこういうことをしたいということを最初にお話しただいて、実現していければというふうに思いました。そのようなところのストーリーをつくりながら進めていただくのが私はいいので

はないかなと思いましたが、ぜひ、よろしくお願いいたします。

生涯学習課長 ありがとうございます。中央図書館にあやかってではなくて、教育科学館自らの力であそこの地域の活性化に貢献していきたいなと思っていますし、青木委員にもおっしゃっていただいたとおり、地域との連携という意味では、今回、受けていただいた事業者さんは、今、既にやっているほかの科学館で、地域との連携を具体的にもされていることも質疑の中でおっしゃっていただいた点も評価もされたということがありますので、あと、それ以外にも、JAXAとのつながりがあるとか、それなりに魅力的なお話がありました。

なので、科学館として魅力をきらきらと出せて、あの地域一帯を変えられるように、あり方についてはこれから検討していきたいなというふうに思います。

教 育 長 今もお話があったように、中央図書館と一体化という意識が、少し難しいのかもしれないのですが、でも、今、STEAMと言われているように文系理系分けて考えないという発想では、何か、どっちかが主じゃなくて、本当に協働的な取組ができればよいと感じています。

この業者と今度は中央図書館がうまく繋がるといいなと思うのですが、そのあたりはどうですか、館長。

中央図書館長 今年度で今の事業者との連携が終わってしまうところは少し残念ではありますが、また、冬に向けての事業とかがあるので、いろいろと試しながらやっていけるという状況では、その施設と直接やり取りするという場面は、2回ぐらい実際やっていて、新しい科学館のディスカッション、そのようなことはやっています。

最近、上板橋北口商店街の方から話を聞く機会がありまして、色々、科学館とかとも話をしたいなということをしていました。

何で商店街のマークが星なのですかと私が聞いたところ、「プラネタリウムもあるのですから」と仰ってまして、そのようにして、まちに根づいている施設だと感じました。そのようなところをしっかりと踏まえて進めていけばいいと思いました。

教 育 長 副参事、何かありますか。

施設整備担当副参事 たまたま同じタイミングで、入学希望の話があって、今、表を見ていたのですが、近隣の小学校、中学校、ここともしっかり手を繋いで、せっかくiCSもあるので、何か、学校でも特色を出せるといいのかなと思ったところでございます。教育委員会が1つになってやっていくといいのかなと思いました。

教 育 長 学社融合みたいな形で繋がっていくといいですね。

施設整備担当副参事 はい。

教 育 長 ありがとうございます。
そのほか、いかがでしょうか。

(なし)

教 育 長 それでは、お諮りします。日程第一 議案第42号については、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教 育 長 それでは、そのように決定いたします。

○議事

日程第二 議案第43号 意見の聴取

(教育総務課)

教 育 長 続きまして、日程第二 議案第43号「意見の聴取」について、次長と教育総務課長から説明願います。

次 長 それでは、議案第43号の資料をご覧いただきたいと思います。
意見の聴取について、議案を提出いたします。
提出者は、中川修一教育長でございます。
今年度の第四回区議会定例会に提出する案件について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づいて、教育委員会に意見を求めるというものでございます。
詳細につきましては、教育総務課長からご説明させていただきます。

教育総務課長 資料2ページ目の方をご覧ください。
11月1日付で、板橋区長から、次の区議会で提出を予定している教育関係の議案について意見聴取がございました。
議案については、次の3ページ目のおりでございます。
先ほど教育科学館の指定管理者候補団体として選定をいたしましたCTC共同事業体を、教育科学館の次期指定管理者として指定するための議案でございます。
この意見聴取に対して、議案に同意する旨、回答したいと思います。
本委員会での決定をお願いいたします。
説明は以上です。

教 育 長 ありがとうございます。
質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

(なし)

教 育 長 それでは、お諮りします。日程第二 議案第43号については、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教 育 長 それでは、そのように決定します。
それでは、以上をもちまして、本日の教育委員会は閉会いたします。
ありがとうございました。

午前 10時 24分 閉会